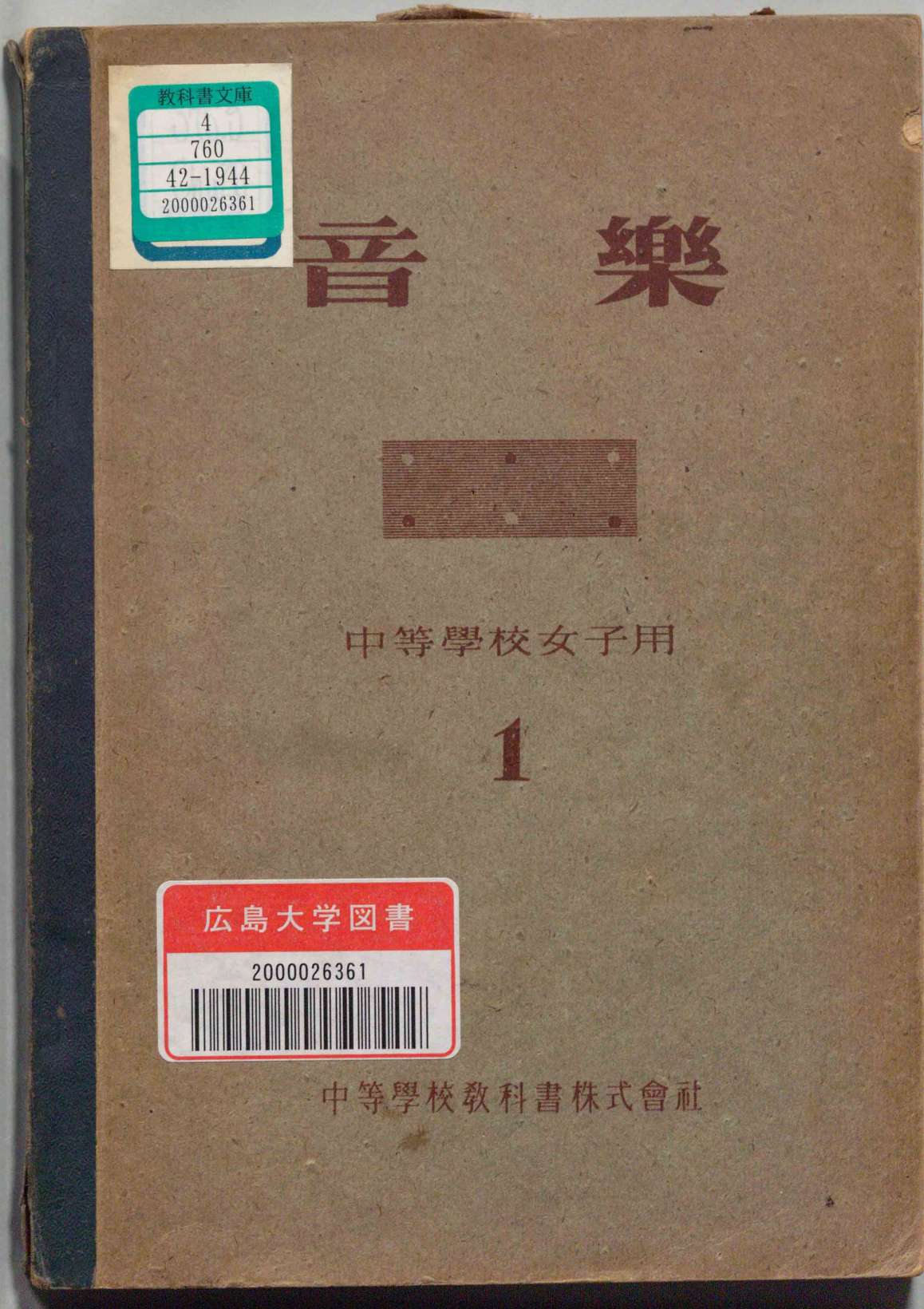
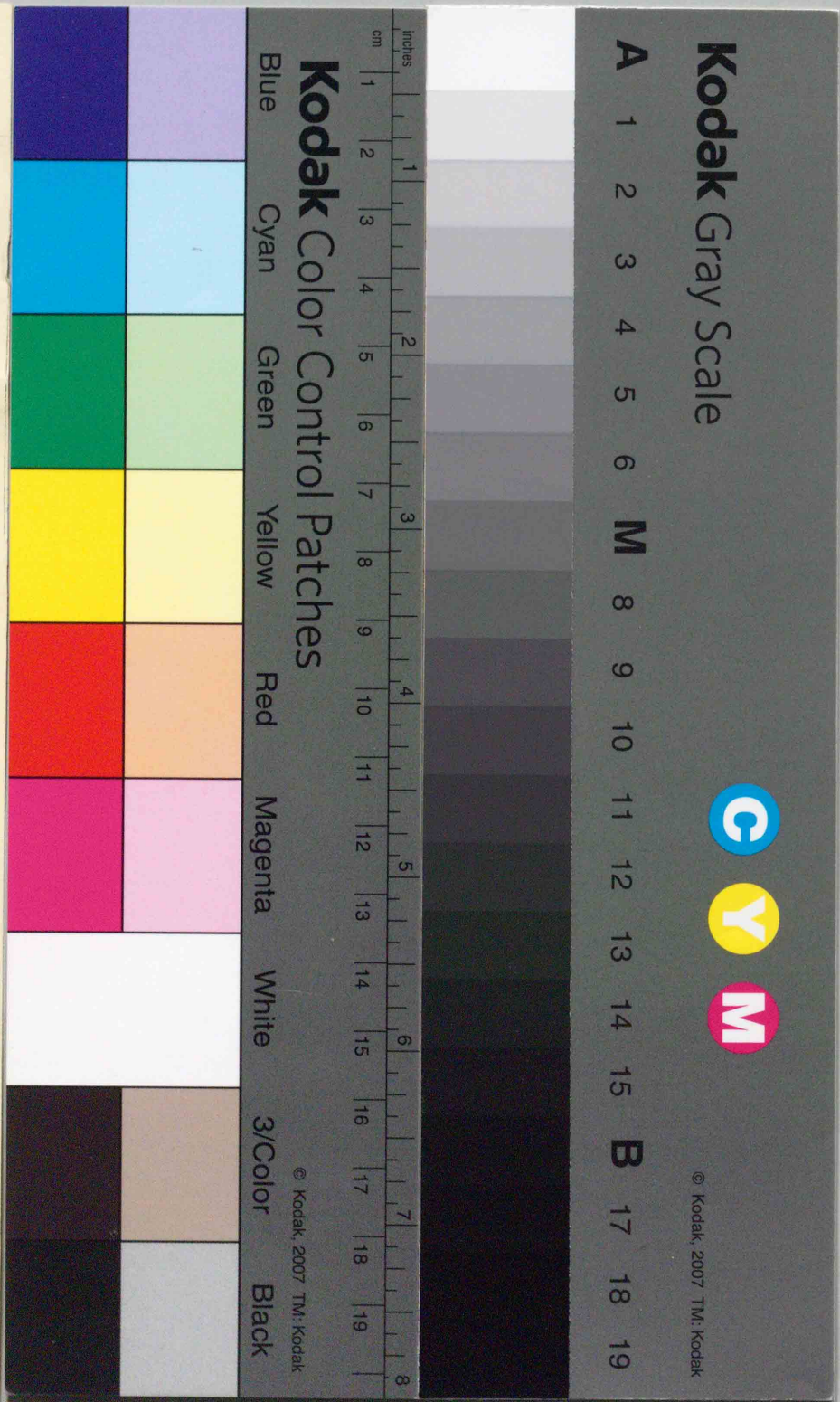


41026

教科書文庫

4
760
42-1944
20000 26361

319
1994



395.9
Chu 20

資料室

教科書文庫

4

760

42-1944

2000026361

文部省検定済

昭和十九年二月三日 高等女學校・實業學校藝術科用

音 樂

1

中等學校女子用

中等學校教科書株式會社

広島大学図書

2000026361



廣島大学
図書印



目次

歌 曲

	曲	歌
霞む夕日	1	3
大空の護り	4	6
春の野	7	10
強歩	12	11
桑摘み	16	19
櫻井の訣別	22	21
夏は来ぬ	26	25
眞珠	28	29
椰子の木かげ	30	33
水に鍛へる	34	37
港	38	40
家	42	41
いざ征け	44	45
秋の山路	48	47
年も豊かに	50	52

月下懷郷54.....53
去年のこよひ56.....58
婦人従軍歌59.....62
麥踏み64.....63
狩獵68.....67
春の七草70.....73
畝傍山76.....75
船路80.....79
神まうで82.....84
子守歌 (ねむれ ねむれ)85.....86
終止形和音合唱87
歌唱基本練習88
音樂理論95
附錄113

廣島大學
圖書印

霞む夕日

♩ = 96

mf

	一	カ	ス	ム	ユ	フ	ヒ	ニ	オ	ク	ラ	レ
	二	な	た	ね	に	つ	ー	づ	く	や	ま	で
	三	ノ	ズ	エ	ハ	ア	ー	ハ	ク	ク	レ	ソ

	テ	ハ	ナ	ノ	ユ	キ	フ	ム
	の	も	り	り	ひ	ー	び	く
	テ	ッ	ク	シ	ツ	ム	コ	モ

霞む夕日

一 霞む夕日に おくられて、
 花の雪ふむ 岡のみち、
 たゞむ影は 消えぬとも、
 なほ奥ふかく わけ入らん。

二 なたねに續く 山寺の
 森よりひびく 鐘のこゑ、
 落ちゆく雲雀 いそがせて、
 歌おもふ身に しみわたる。

三 野末はあはく 暮れそめて、
 土筆つむ子も 歸るなり。
 明日もまた來ん さらばいざ、
 花よ、胡蝶よ、春風よ。

フ カ ノ ミ チ タ タ ズ ム
 か ね の こ ち お た ズ く
 カ へ ル ナ リ ア 一 ス モ

カ ゲ ハ キ エ ヌ ト モ
 ひ ば ー り い そ が せ
 マ タ コ ン サ ラ バ セ イ ザ

ナ ホ オ ク フ カ ク ワ ケ イ ラ ン
 う た お も ふ み に し み わ た る
 ハ ー ナ ヨ コ テ フ ヨ ハ ル カ ゼ ヨ

大空の護り

勇壯に ♩ = 116

f きつぱりと

f

一 ソ ラ ニ セ イ エ イ
 ニ よ し や き た ら ば
 三 ホ ノ ホ ナ ん ゾ ヤ

mf

チ ニ セ イ エ イ ヒ ト シ ク マ モ
 た だ ひ っ き つ く わ う の け が
 ワ レ テ イ シ ン タ ダ チ ニ ケ ス

レ バ イ ッ テ ン シ ハ
 れ ぞ う ち テ シ ヤ
 ベ シ ダ ン ジ テ マ モ

f *ff*

ウ イ ッ キ ノ テ キ ダ ニ
 ん い っ き の て き だ に
 レ イ ッ キ ノ テ キ ダ ニ

f

1.2. 3.
 オ カ ス ラ ユ ル サ ズ
 お か す を ゆ る さ ズ
 オ カ ス ラ ユ ル サ ズ

春の野

優美に ♩=126

一 フムツチノカノスガヤカニ
二 ヨキマダラなるヤマノカゲ

クハトルノベノヒハウラーラ
くだきてみづはきらめき一つ

大空の護り

一 空に精銳、地に精銳、

ひとしく護れば、一天四方。

一 機の敵だに、冒すを許さず。

二 よしや來たらば、たゞ必殺、

皇土のけがれぞ、撃ちてしやまん。

一 機の敵だに、冒すを許さず。

三 焔何ぞや、われ挺身、

たゞちに消すべし、斷じて護れ。

一 機の敵だに、冒すを許さず。

ハナカヲリ ムギアヲク
いささがは はやおへば

The first system on page 8 consists of two staves. The upper staff is a vocal line in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 7/8 time signature. It contains two lines of lyrics. The lower staff is a piano accompaniment in bass clef, also in F# major and 7/8 time, with a dynamic marking of *mf*. The piano part features a rhythmic accompaniment with eighth and sixteenth notes.

トリノコエ カゼニミチ
みづくさの なびくみゆ

The second system on page 8 continues the musical piece. It features a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are: ク トリノコエ カゼニミチ / ば みづくさの なびくみ. The piano accompaniment maintains the same rhythmic pattern as the first system.

キノメモクサモ
すべてにいのち

The first system on page 9 consists of two staves. The upper staff is a vocal line in treble clef with a key signature of one sharp (F#) and a 7/8 time signature. It contains two lines of lyrics. The lower staff is a piano accompaniment in bass clef, also in F# major and 7/8 time, with a dynamic marking of *mp*. The piano part features a rhythmic accompaniment with eighth and sixteenth notes.

チキノメモクサモ モエイツル
ゆすべてにいのち あたらしく

The second system on page 9 continues the musical piece. It features a vocal line and a piano accompaniment. The lyrics are: ハルノダイチゾウツクシーキ / はるのいぶきぞよみがへる. The piano accompaniment maintains the same rhythmic pattern as the first system.

強歩

野越え、岡越え、

ゆけ、ゆけ、ゆけ、ゆけ、ゆけ。

青空 飛ぶ雲、

輝く 日かげ。

あふる、氣力。

強歩、強歩。

ゆけ、ゆけ、ゆけ、ゆけ、ゆけ。

歩調をそろへ。

春の野

一 踏む土の香のすがやかに、

鍬とる野べの日はうらゝ。

花かをり、麥青く、

鳥のこゑ、風にみち、

木の芽も草も、萌えいづる。

春の大地ぞ、うつくしき。

二 雪まだらなる山の影、

碎きて、水は、きらめきつ。

いさゝ川、鮠追へば、

水草のなびく見ゆ。

すべてにいのち、あたらしく、

春のいぶきぞ、よみがへる。

強 歩

元氣よく ♩ = 116

mf f mf

f mp

mf f

ノ コ エ ー ヲ カ コ エ

mf

ノ コ エ ー

mf f mf f mf

f mf f mf

ユ ケ ユ ケ ユ ケ ユ ケ ー ア

f mf

ヲ カ コ エ ー ユ ケ ユ ケ ユ ケ ユ

f mf

mp

ヲ ー ゾ ラ ト プ ク モ カ ガ ヤ ク

f mf

ケ ー ア ヲ ー ゾ ラ ト プ ク

ヒカゲアフルルキリョク

モカガヤクヒカゲアフルルキリョ

アフルルキリョクキヤウホキヤウホユ

クアフルルキリョクキヤウホ

ケユケユケユケホテウラ

キヤウホユケユケユケユ

ソロヘーソロヘー

ケホテウラソロヘー

桑 摘 み

晴れやかに ♩ = 100

mf *p*

mp

一ツキ カ ゲ ウー ス ー レ アー
ニみた て と ゆー き ー し あー

mp

カ ー ツ キ ノ ヒー カ ー リ ミチ
に ー う へ の こー の ー み たま

タ リ ハ ハ ウー へー ヨ シー
び し く は いー ちー ご けー

バ シ ク ハ ツ ム テ ヲ ー ヤ ス
さ は は か げ に い ろ ー づ き

メ ア フ ギ タ マ へ ー ヤ ミー
て こ が ひ た の し ー き くー

mf

ネ ノ ク モ ネ グ ラ ヲ
は 一 つ み や あ さ き り

mf

イ デー テ ヤ マー ノ ト リ
な が ー れ く は ー ば ら の

mf

ツ バ サ ユー ター カ ニ マ ヒー タ チ ス
む ー ら は しー づー か に あ けー に け り

桑 摘 み

一 月かげうすれ、曉の

光みちたり。母上よ、

しばし桑摘む手を休め、

あふぎ給へや、峯の雲。

ねぐらをいでて、山の鳥、

翼ゆたかに舞ひ立ちぬ。

二

御楯と征きし 兄上の

このみ給ひし 桑苺。

けさは葉かげに 色づきて、

蠶飼のしき 桑摘みや。

朝霧流れ、桑原の
村はしづかに 明けにけり。

櫻井の訣別

一 青葉しげれる櫻井の 里のわたりの夕まぐれ、
木の下かげに駒とめて、世の行く末をつくくくと、
しのぶ鎧の袖の上に ちるは涙かはた露か。

二 正成なみだをうち拂ひ、わが子正行呼びよせて、
父は兵庫におもむかん、かなたの浦にて討死せん、
汝はこゝまで來たれども、とくく歸れふるさとへ。

三 父上いかにのたまふも 見すてまつりてわれひとり、
いかで歸らん歸られん、この正行は年こそは
いまだ若けれもろともに 御供つかへん死出の旅。

四 汝をこゝより歸さんは わが私のためならず、
おのれ討死なさんには 世は尊氏のまゝならん、
早く生ひたち大君に 仕へまつれよ國のため。

五 この一ふりはいにし年 君のたまひしものなるぞ、
この世の別れのかたみにと、汝にこれをおくりてん、
ゆけよ正行ふるさとへ、老いたる母の待ちまさん。

六 ともに見送り見かへりて 別れを惜しむ折からに、
またも降りくる五月雨の 空に聞ゆるほとゝぎす、
誰かあはれと聞かざらん、あはれ血になくその聲を。

櫻井の訣別

♩ = 88

mf

mf

一 ア一 ヲ バ シ ゲ レ ル サ ク ラ 井 ノ
 二 ま さ し げ な み だ を ち は ら ひ
 三 チ チ ウ へ な い み だ カ ニ ち マ フ モ
 四 い ま し へ い こ こ 一 一 一 一 一 一 一 一
 五 コ ノ ヒ ト に フ 一 一 一 一 一 一 一 一
 六 と 一 も に み お く ハ リ ミ カ ヘ ト リ シ テ

mf

mf

一 サ一 ト ノ ワ タ リ ノ ユ フ マ グ レ
 二 わ一 が こ ま さ つ ら び よ び よ せ て
 三 ミ一 ス ニ ま さ ツ り っ ら び れ せ
 四 わ一 が テ マ マ ツ リ テ の の せ せ
 五 キ一 が た マ マ ツ し の シ の せ せ
 六 わ一 か を を マ マ ツ し の シ の せ せ

f

一 コ ノ シ タ カ 一 ゲ ニ コ マ ト メ テ
 二 ち 一 ち は ひ や り 一 ゴ に お も ち か ん
 三 イ 一 一 カ は テ カ へ ち ラ ン お へ ら ン
 四 お 一 の テ カ う へ ち じ に な さ ら ン
 五 コ ノ ヨ た ノ ワ カ リ 一 ノ 一 一 一 一 一 一
 六 ま 一 た も ふ り く る さ み だ 一 一 一 一 一 一

f

f

一 ヨ ノ ユ ク ス エ ラ 一 ツ ク ツ ク ト
 二 か な た の の う ら に て 一 一 一 一 一 一
 三 コ ノ マ サ の ツ ラ ハ 一 一 一 一 一 一
 四 よ は た さ っ う ち の 一 一 一 一 一 一
 五 イ マ シ シ カ コ コ レ ヲ 一 一 一 一 一 一
 六 そ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

mf

ニもニにへん
へどもみとら
ノれとささ
デた口ほルか
ソきモおフき
ノでレちラと
ヒまケたツれ
ロこカひサは
ヨこワおマあ
ブはダくヨか
ノしまやケれ
一いま一
一しいはユた
二
三
四
五
六

mf

f

カヘビメンを
ユとタたサ
ツさノのマ
ハたるテチの
カハハハハハ
ダへへハハハ
ミカハハハハ
ナかつハハハ
ハくモヘル
ルとトカハ
一チとオオハ
二
三
四
五
六

f

夏は来ぬ

一 うの花のほふ垣根に、
ほととぎす早も来なきて、
忍び音もらす夏は来ぬ。

二 さみだれのそぐ山田に、
早少女が裳裾ぬらして、
玉苗植うる夏は来ぬ。

三 棟散る川べの宿の
門遠く水雞聲して、
夕月すゞしき夏は来ぬ。

夏は来ぬ

♩ = 84

mf grazioso

mp

一ウノハナ ノニホフカキネニ
 二さみだれのそそぐやまだに
 三アフチチルカハベノヤドノ

mp

(ホツトタカ)

ホトトギスハヤモキナキテシノビ一ネ
 さをとめがもすそぬらしてたまな一ヘ
 カドトホククヒナコエシテユフツキス

v. f

1. 2.

モース ナツ一ハキヌ
 うーる なつ一はきぬ
 ズーシキ ナツ一ハキ

f

1. 2.

二反復記号

3.

mp

poco f

legato

p

眞 珠

愛情をこめて ♩ = 108

mp

一 ア タ タ カ キ
二 い く と せ を

mp

rit.

シ ホ ノ ナ ガ レ ニ オ ヒ タ チ シ ナ レ ハ シ ン ジ ュ
う み に さ た へ て い ろ は ゆ る な れ は し ん じ の

rit.

mf a tempo

ヨ ナ ミ ノ シ ブ キ カ キ ヨ キ ヒ カ リ ノ
よ や ま と を と め の ゆ か し こ ころ を

mf a tempo

p rit.

ス コ ヤ カ サ タ マ ニ ミ ナ ギ ル
つ つ ま し く う つ し か が や く

p rit.

眞 珠

一 暖かき 潮の流れに、
生なまひたちし 汝なまは眞珠よ。
波のしぶきか 清き光の
健かさ、珠にみなぎる。

二 幾年を 海に鍛へて、
色はゆる 汝は眞珠よ。
大和をとめの ゆかし心を、
つゝましく、うつし輝く。

椰子の木かげ

♩ = 76

f

mf (V)

一 ソ ラ ハ テ ナ キ
二 く づ れ み だ る
三 ユ フ ヒ オ チ タ リ

mp

コ ン ノ イ ロ ヒ ザ シ ハ
く も の み ね み づ つ り ー
タ チ マ チ ニ マ ン テ ン ー

(V)

モ エ テ カ ゲ チ サ ク
ゆ り て か が は や く
ノ ホ シ キ ラ メ キ テ

(V)

マ シ ロ キ ハ ナ ニ カ ゼ ユ レ
し う ら は た き と お そ ふ と
ユ フ ゲ ノ ノ チ ノ ヒ ト ト キ

テ キ ヤ シ ノ コ カ ゲ ノ
ヲ ヤ シ の こ か げ の
ヤ ヤ シ ノ コ カ ゲ ニ

椰子の木かげ

一 空は果てなき 紺のいろ、日ざしは燃えて 影ちさく、
 ましろき花に 風揺れて、椰子の木かげの 家々に、
 日の丸の旗 ひらめけり。

二 くづれ亂るゝ 雲の峰、密林揺りて 風はやく、
 驟雨は瀧と 襲ふとき、椰子の木かげの 窓ごとに、
 東京の聲 ひびきををり。

三 夕日おちたり たちまちに、満天の星 きらめきて、
 夕餉の後の 一ときを、椰子の木かげに 子供らは、
 日本のうた うたふなり。

The musical score is written on three systems of staves. The first system (top) features a vocal line with lyrics and a piano accompaniment. The second system (middle) continues the vocal line and piano accompaniment. The third system (bottom) shows the final vocal line and piano accompaniment. Dynamics include *mf* and *f*. The lyrics are in Japanese, with some characters in katakana.

Lyrics for the first system:
 イま コ ヘど ド イご モ ヘと ラ ニに ハ ヒと ニ ノウ ッ

Lyrics for the second system:
 マキヤ ポ ルン ノハコウ タヒヒウ ラビタ

Lyrics for the third system:
 メキフ ケをナ リリ

水に鍛へる

心ゆたかに力強く ♩=88

mf

mf

一 コ エ ハ ヨ ブ
 二 は た は な る
 三 ウ ミ ハ ヨ プ

ナ ツ グ モ ノ
 い は が ね の
 オ ホ ズ ラ ト

ワ キ タ ツ カ ナ タ
 し ぶ き き ツ カ ナ タ
 ア ビ ヒ ウ ツ カ ナ タ
 ト コ ロ

mp プレゼンド

ナ ミ ニ ノ リ テ
 み づ に あ そ び
 ア ス ニ ソ ナ ヘ

mf

ナ ミ ラ コ エ テ ス ス メ
 み づ に き た ヘ は げ め
 ア ス ラ ニ ナ ナ ヒ ス ス メ

シシシ
 カのヨ
 ワたツ
 レラ
 ワレ
 ワ
 ー
 ー
 バ
 バ

ラちウ
 カのバ
 チいキ
 ル
 ド
 ド
 ヲ
 ヲ

速度を厳格に

ff

水に鍛へる

一 聲は呼ぶ、夏雲の湧きたつかなた。
 波に乗りて、波を越えて進めば、
 われら若し、をどる力。

二 旗は鳴る、岩が根のしぶきにぬれて。
 水に遊び、水に鍛へはげめば、
 われら樂し、をどるいのち。

三 海は呼ぶ、大空と相搏つところ。
 明日に備へ、明日を荷なひ進めば、
 われら強し、をどる希望。

港

楽しく ♩=120

mf

mp

mp

一ソーラ モ ミナト モ ヨハハレ テ
ニひーび く きてき に よはあ け て

mp

一ソーラ モ ミナト モ ヨハハレ テ
ニひーび く きてき に よはあ け て

ツキニ カズマ ス フネノ カ ゲ
い っ か きえゆ く そらの ほ し

ツキニ カズマ ス フネノ カ ゲ
い っ か きえゆ く そらの ほ し

ハシケ ノ カ ヨ ヒ ニギヤ カ ニ
たいれふ の う た も いさま し く

ハシケ ノ カ ヨ ヒ ニギヤ カ ニ
たいれふ の う た も いさま し く

Musical score for the song 'Home' (家). It consists of three systems of music. The first system is a vocal line with lyrics: ヨセクル ナーミ モ コガネ ナ リ / あさひを あーび て ふねかへる. The second system is a vocal line with lyrics: ヨセクル ナ ミ モ コガネ ナ リ / あさひを あ び て ふねかへる. The third system is a piano accompaniment. The score includes dynamic markings like 'mf' and first/second endings.

家

一 つかれもいつか 忘れられて、
 わが家のまとも あたゝかき、
 夕餉のあとの さゞめきに
 泉のごとく 湧く力。

二 明かるき聲に 送られて、
 わが家の門を いづる時、
 今日こそ強く 生きぬかん
 覚悟も新たに 湧く力。

三 祖先の教へ うけつぎて、
 力のもとと なるものは、
 父・母・妻・子、 はらからの
 むつみてまもる わが家なり。

港

一 空も港も 夜ははれて、
 月に數増す 船のかげ、
 はしけの通ひ にぎやかに、
 よせくる波も 黄金なり。

二 ひゞく汽笛に 夜はあけて、
 いつか消えゆく 空の星、
 大漁の歌も 勇ましく、
 朝日をあびて 船かへる。

家

♩ = 126

mf

一 ツ カ レ モ イ ツ 一 カ ワ ス 一 ラ レ
 二 あ か る き こ ゑ 一 に お く 一 ら れ
 三 ソ セ ン ノ ヲ シ 一 ヘ ウ ケ 一 ツ キ

mf

v p

テ 一 ワ ガ ヤ ノ マ ト キ ア タ タ カ
 て 一 わ が や の か ど を い づ る と
 テ 一 チ カ ラ ノ モ ト ト ナ ル モ ノ

p

mf

キ 一 ユ フ ゲ ノ ア 一 ト ノ サ
 き 一 け ふ こ そ つ 一 よ く い
 ハ 一 チ チ ハ ハ ツ 一 マ コ ハ

mf

f

ザ 一 一 メ 一 キ ニ 一 一 イ ツ 一 ミ 一 ノ
 き 一 一 ん 一 か 一 一 か く 一 一 こ 一 も
 ラ 一 一 カ 一 ラ ノ 一 一 ム ツ 一 一 シ 一 テ

f

mp a tempo

ゴ ト ク ワ ク 一 チ カ ラ 一
 あ ら た わ く 一 ち か ら 一
 マ モ ル ワ ガ 一 ヤ ナ リ 一

p

mp a tempo

いさ 征 け

♩ = 60

f

f

一 イ ザ ユ ケ ツ ハ モ ノ ク ニ ノ タ 一
 ニ い さ ゆ け つ は も の ひ の も と 一
 三 イ ザ ユ ケ ツ ハ モ ノ ミ イ 一 ク サ

f *mf*

メ 一 イ ノ チ サ サ ゲ テ ラ
 の 一 わ か き ち も ゆ る を
 ニ 一 シ コ ノ ミ タ テ ト ナ

mp

ヲ 一 シ ク モ 一 イ デ タ ツ ス
 と 一 め た ち 一 じゆ う ご の つ
 ル 一 ホ マ レ 一 ミ ク ニ ラ ヤ

mf *f*

ガ 一 タ ミ オ ク 一 レ バ 一 ア
 と 一 め こ の う 一 て の 一 か
 ス キ ニ オ ク ヒ 一 マ デ 一 コ

mf

ツ キ ナ ミ ダ 一 ノ ア 一 フ 一 レ 一 ク ル 一
 ぎ り つ く さ 一 て や 一 む 一 ベ 一 き や 一
 コ ロ ヤ ス カ 一 レ イ 一 ヘ 一 ノ 一 コ ト 一

秋の山路

一 石を洗ひて、走る水に、

朝日かゞやく 秋の山路。

森かげ木立を 過ぎゆけば、

われを迎ふる 小鳥の歌。

二 鳴るや秋風、梢ゆれて、

招く尾花の すがたやさし。

こゝしき岩がね よぢゆけば、

ふもとは遠し、千町ちまちまの小田をだ。

いざ征け

一 いざ征け、つはもの、國のため

いのち捧げて、を、しくも、

出て立つ姿、見送れば、

熱き涙あつなみの あふれくる。

二 いざ征け、つはもの、日の本の

若き血燃ゆる をとめたち、

銃後のつとめ、この腕の

かぎり盡くさで、止むべきや。

三 いざ征け、つはもの、聖戦みいくさに、

醜みにくの御楯みたてとなる譽

皇國みくにを泰やすきに おく日まで

心安かれ 家のこと。

秋の山路

優美に ♩=88

p

—イ シ ヲ ア ラ
ニ な る や あ き

ヒ テ ハ シ ル ミ ツ ニ ア
か ぜ こ ー ず る ゆ れ て ま

サ ヒ カ ガ ヤ ク ア キ ノ ヤ マ
ね く を ば な の す が た や さ

チ シ モ リ カ ゲ コ ダ チーヲー
し こ こ し き い は がーねー

mf

ス ギ ユ ケ バ ワ レ ヲ ム カ
よ ぢ ゆ け ば ふ も と は と

vp

フ ル コー ト リ ノ ウ タ
ほ し ち ま ち の を た

年も豊かに

♩ = 72

mf

Two staves of piano introduction in G major, 2/4 time. The right hand features a melody with eighth and sixteenth notes, while the left hand provides a rhythmic accompaniment with chords and single notes.

mf

ト シ モ ユ タ カ ニ

mf

ト シ モ

Two systems of vocal and piano accompaniment. The first system shows the vocal line with lyrics 'ト シ モ ユ タ カ ニ' and the piano accompaniment. The second system shows the vocal line with lyrics 'ト シ モ' and the piano accompaniment.

mp

mp

Two staves of piano accompaniment. The right hand has a melodic line with eighth notes, and the left hand has a rhythmic accompaniment with chords.

ミ ノ ル ア キ カ ゼ ニ サ ラ サ ラ

ユ タ カ ニ ミ ノ ル ア キ カ ゼ ニ

Two systems of vocal and piano accompaniment. The first system shows the vocal line with lyrics 'ミ ノ ル ア キ カ ゼ ニ サ ラ サ ラ' and the piano accompaniment. The second system shows the vocal line with lyrics 'ユ タ カ ニ ミ ノ ル ア キ カ ゼ ニ' and the piano accompaniment.

mf

サ ラ リ ー サ ラ サ ラ サ ラ サ ラ

mf

サ ラ サ ラ サ ラ リ ー サ ラ サ ラ

Two systems of vocal and piano accompaniment. The first system shows the vocal line with lyrics 'サ ラ リ ー サ ラ サ ラ サ ラ サ ラ' and the piano accompaniment. The second system shows the vocal line with lyrics 'サ ラ サ ラ サ ラ リ ー サ ラ サ ラ' and the piano accompaniment.

タ リ ホ ガ ユ レ ル ヒ ガ ヒ カ ル

サ ラ サ ラ タ リ ホ ガ ユ レ ル ヒ ガ ヒ カ

Two systems of vocal and piano accompaniment. The first system shows the vocal line with lyrics 'タ リ ホ ガ ユ レ ル ヒ ガ ヒ カ ル' and the piano accompaniment. The second system shows the vocal line with lyrics 'サ ラ サ ラ タ リ ホ ガ ユ レ ル ヒ ガ ヒ カ' and the piano accompaniment.

月下懷郷

一 まどかのにほれり 雲なき空に、
 見るくはなる、 松が枝たかく、
 こよひの月かけ 仰ぎて遙か、
 わがうへ語るや ふるさと人は。

二 雁鳴きわたるや かずさへ見えて、
 野づらはきらめく 豊けきみのり、
 ふけゆく月かけ ひかりの中に、
 すがたぞ見えくる ふるさと人よ。

The musical score is written on three staves. The top two staves are for the vocal line, and the bottom staff is for the piano accompaniment. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 7/8. The score is divided into two systems, each with a first ending (1.) and a second ending (2.). The lyrics 'トシモ' and 'ル' are placed under the vocal notes. The piano part includes dynamic markings 'mp' and 'f'.

年も豊かに

年も豊かに、みのある秋。
 風に、さら、さら、
 さらり、さら、さら、
 さら、さら、たり穂がゆれる、
 日が光る。

月下懷郷

$\text{♩} = 80$
p

マ ド カ ニ ノ ー ボ ー レ ー リ ク モ
ニ カ リ ナ キ ワ ー タ ー ル ー ヤ カ ズ

ナ キ ソ ー ラ ー ニ ミ ル ミ ル ハ ー ナ ー
さ へ み ー え ー て の づ ら は き ー ら ー

ル ー ル マ ツ ガ エ タ ー カ ー ク
め ー く ゆ た け き み ー の ー り

mf *f*

コ ヨ ヒ ノ ツ キ カ ゲ ア フ
ふ け ゆ く つ き か げ ひ か

p

ギ テ ハ ー ル ー カ ー ワ ガ ウ へ カ ー タ ー
り の な ー か ー に ー す が た ぞ み ー え ー

ル ー ヤ フ ル サ ト ビ ー ト ー ハ
く ー る ふ る さ と び ー と ー よ

去年のこよひ

まごころをこめて ♩ = 100

mf p mf

mf

一 コーゾノコヨヒハ セイリャウ デン
二 おんしのぎいは 一 ここにあり

mf

V

キ ク ノ ギョ エン ニ ハ ン ベ リ
い ま も あ さ ゆ さ さ げ つ

V

テ ミ コ ト カ シ コ ミ
つ み や こ の か た に

f

オ ン マ ヘ ニ シ ウ シ ノ
う ち む か ひ き ー み が

V dim.

シ コ ソ ー ツ ク リ シ カ
よ か う を は い す な り

dim. a tempo mf

1. 2.

1. 2.

rit

去 年 の こ よ ひ

一 去 年 の 今 宵 は 清 涼 殿、
 菊 の 御 宴 に 侍 り て、
 み こ と か し こ み 御 前 に、
 秋 思 の 詩 こ そ 作 り し か。

二 恩 賜 の 御 衣 は こゝ に あり、
 今 も 朝 夕 捧 げ つゝ、
 都 の 方 に うち 向 か ひ、
 君 が 餘 香 を 拜 す な り。

婦 人 從 軍 歌

♩ = 88

f

3

3

mp

一 ホ わ ツ ッ ノ
二 わ き て ー
三 ヤ ガ テ ー
四 み が か た の

mf *mp*

ヒ ピ キ 一 ト ホ ザ カ ル
ス ゴ き は て ホ ミ カ タ
ジ ゴ フ ジ ノ ハ タ ラ の タ
ヘ い の ー う へ の み か

mf

ア ト ニ ハ ム シ モ 一 コ エ タ テ
ば ー ニ ハ ム シ モ 一 コ エ タ テ
テ ン ト ハ ム シ モ 一 コ エ タ テ
コ ン ト ハ ム シ モ 一 コ エ タ テ

mf

f

ズ フ キ タ ツ カ ゼ ハ
れ た ふ れ し ひ と の
ク テ ふ ト ニ マ セ と ハ
も い と ね ん ご ろ に

f

ナ マ グ サ ク ク レ ナ キ
カ ほ い ら は の ジ ー ベ の
ヒ ノ モ ト ノ こ こ ろ の

ソ メ シ 一 ク サ ノ イ ロ
ク さ ば に さ も の た リ
ア イ ろ は ニ ト ム フ ジ ン
い ろ は ニ ト ム フ ジ ン

麥踏み

一 麥の青さよ、この霜晴れに、

みんな總出で 野ら仕事。

葉先いとしゃ、ほどよく踏んで、

強く育てる 親ごころ。

鳴いてゐるのは山雀、日雀、

向かふ根山に、日がのぼる。

二 影を並べて 畝から畝へ、

姉と妹の わら草履。

根もと寒かろ、やさしく踏んで、

太く仕立てる 親ごころ。

鳴いてゐるのは山雀、日雀、

向かふ根山に、日がのぼる。

婦人従軍歌

一 火筒の響き遠ざかる、あとには虫もこゑたてず、

吹き立つ風はなまぐさく、くれなる染めし草の色。

二 わきてすごきは敵みかた、帽子飛び去り、袖ちぎれ、

たふれし人の顔色は、野べの草葉にさも似たり。

三 やがて十字の旗を立て、テントをさして荷なひ行く、

テントに待つは、日本の本の 仁と愛とに富む婦人。

四 みかたの兵の上のみか、言葉も通はぬ仇までも、

いとねんごろに看護する 心の色は赤十字。

麥 踏 み

さわやかに ♩=92

mf

一ムギノアヲサヨコノシモ
ニかげをならべてうねから

mp

バレニミンナソウデデ
うねへあねといもとの

p

ノラシーゴートハサキイトシヤ
わらざーうーりねもとさむかる

mf

ホドヨクフンデツヨクソダテル
やさしくふんでふとくしたてる

のびのびと
mp

オヤゴコロナイテ一キル一
おやごころないて一ある一

のびのびと
mp

狩 獵

一 獵銃肩に、山や谷、
踏みわけゆけば、朝日さす。
ほいよ、ほいよ、ほいよ、
たのしき かりくら。

二 澄みゆく大氣 ふるはせて、
群れたつ鳥の こゑ高し。
ほいよ、ほいよ、ほいよ、
たのしき かりくら。

三 こだまに響く 弾丸の音、
えものは多し 今日の狩。
ほいよ、ほいよ、ほいよ、
たのしき かりくら。

ノ ハ ヤ マ ガ ラ ヒ ガ
の は や ま が ら ひ が

ラ ム カ フ ネ ヤ マ ニ
ら む か ふ ね や ま に

ヒ ガ ノ ボ ル
ひ が の ぼ る

狩 獵

♩. = 72
mf

一レ フ ジ ャ ウ カ タ ニ ヤ マ ヤ ー タ
ニ す み ゆ く た い き ふ る は ー せ
三 コ ダ マ ニ ヒ ビ ク タ マ ノ ー オ

ニ フ ミ ワ ケ ユ ケ バ ア サ ヒ ー サ
て む れ た つ と り の こ ゑ た ー か
ト エ モ ノ か オ ホ シ ケ フ ノ ー カ

(二回目はp)

ス ホ イ ヨ ホ イ ヨ ホ イ ヨ ー タ ノ
し ほ い よ ほ い よ ほ い よ ー た の
リ ホ イ ヨ ホ イ ヨ ホ イ ヨ ー タ ノ

1. シ キ カ リ ク ラ ラ
し き か り く ら ら
シ キ カ リ ク ラ ラ

春の七草

美しく ♩ = 60

First system of musical notation on page 70, featuring two vocal staves and a piano accompaniment. The piano part includes a bass line with a 'p' dynamic marking.

Second system of musical notation on page 70, including lyrics for the vocal lines and piano accompaniment. The piano part includes a bass line with a 'p' dynamic marking.

一 ヤ マ ハ マ シ ロ キ ユ キ ナ レ
 二 な づ な は こ べ ら ほ と け の
 三 カ ゼ ハ ハ ダ ヘ ニ サ ム ケ レ

First system of musical notation on page 71, including lyrics for the vocal lines and piano accompaniment. Dynamics include 'mf' and 'p'.

ト ノ ニ ハ ヒ ザ シ モ ウ ラ ウ ラ
 さ こ こ に か し こ も え い で
 ト ハ タ ノ ス ズ ナ ニ ス ズ シ ロ

Second system of musical notation on page 71, including lyrics for the vocal lines and piano accompaniment. Dynamics include 'mf' and 'p'.

ト キ バ ミ カ レ タ ル ミ
 て や ぶ の こ か げ の こ
 ニ ハ ル ノ イ ブ キ ノ ホ

春の七草

一 山はましろき 雪なれど、
野にはひざしも うらくと、
黄ばみ枯れたる 道芝の
下にめばゆる は、こぐさ。

二 なづな はこべら ほとけのぎ。
こゝにかしこに 萌え出でて、
藪のこかげの 小流れに、
芹もみどりの 葉を洗ふ。

三 風は 肌はだに 寒けれど、
畑はたけのすゝなに、 すゝしろに、
春のいぶきの ほの見えて、
籠かごをいろどる 七つ草。

チ シ バ ノ シ タ ニ メ バ
な が れ に せ り も み ど
ノ ミ エ テ カ ゴ ラ イ ロ

ユ ル ハ ハ コー グ サ
リ の は を あー ら ー
ド ル ナ ナ ツー グ サ

畝傍山

一 神さぶる 畝傍山、

香も高き 新宮の

大前に ぬかづきて、

いにしへを 思ふかな。

三 筑紫路を 出で立たし、

瀬戸の海、 浪速の津、

波高き 熊野浦、

幾春は 過ぎ行きぬ。

二 かの山に 立たしけん

この庭を ふましけん

大君を いはまくも

かけまくも かしこしや。

四 紀路の山 さがしけど、

日の御子の みゆきなり。

撃ちくゝて やまんぞと、

神ながら 宣らすれば。

五 仇なせる 醜草は、

かつ靡き、 かつ消えて、

大御稜威 くまもなく、

秋津洲 照りはえぬ。

七 八紘 宇とせん

御心の かしこさに

浦安の やすらけく

はつ國ぞ しろしけん。

六 香山と 耳成と、

相向かふ 畝傍山。

山もとの 櫃原に、

大都 奠めつゝ。

八 天皇の 御代榮え、

皇軍の 征くところ

草も木も よみがへり、

大アジャ こぞり立つ。

山 傍 畝

♩ = 63

Musical score for the first system on page 76. It consists of a vocal line in treble clef and a piano accompaniment in grand staff (treble and bass clefs). The tempo is marked as ♩ = 63. The key signature has one sharp (F#).

Musical score for the second system on page 76. It consists of a vocal line in treble clef and a piano accompaniment in grand staff. Dynamics include *p* and *mp*.

一	カ	ム	サ	ブ	ル	ウ	ネ	ビ
二	か	の	や	ま	に	た	た	し
三	ツ	ク	シ	チ	ラ	イ	テ	タ
四	き	ち	の	や	マ	さ	ガ	シ
五	ア	の	ナ	セ	ル	シ	コ	グ
六	か	タ	ヤ	マ	ト	ミ	ミ	ナ
七	ア	ぐ	ガ	シ	タ	イ	ヘ	ト
八	す	め	カ	ギ	の	ミ	よ	ス

Musical score for the first system on page 77. It consists of a vocal line in treble clef and a piano accompaniment in grand staff. Dynamics include *mf*.

一	ヤ	マ	カ	モ	タ	カ	キ
二	け	ん	こ	の	に	は	を
三	タ	シ	セ	ト	ノ	ウ	ミ
四	け	ど	ひ	の	ミ	こ	の
五	サ	ハ	カ	ツ	ナ	ビ	キ
六	し	と	あ	ひ	む	カ	フ
七	セ	ン	ミ	コ	コ	ロ	ノ
八	か	え	み	い	く	さ	の

Musical score for the second system on page 77. It consists of a vocal line in treble clef and a piano accompaniment in grand staff. Dynamics include *p* and *mf*.

一	ニ	ヒ	ミ	ヤ	ノ	オ	ホ	マ	ヘ	ニ
二	ふ	ま	し	け	ん	お	ほ	き	み	を
三	ナ	ニ	ハ	ノ	ツ	ナ	ミ	タ	カ	キ
四	み	ハ	キ	ナ	リ	エ	チ	ウ	チ	テ
五	カ	ツ	ネ	エ	テ	ヤ	イ	ミ	イ	ツ
六	ウ	ね	シ	ヤ	マ	サ	ト	モ	ト	の
七	カ	シ	コ	サ	ニ	コ	ス	ヤ	ス	の
八	ウ	ク	ト	コ	ロ	ク	エ	モ	エ	も

船路

一 岬まはれば 海原晴れて、
吹くよ 千里の南風。
寄せ来る波は 舳にくだけ、
楽しき船路、 いざ友よ歌はん。

二 みどり島山 遙かに消えて、
船を見送る 真帆片帆。
機関の響き あこがれのせて、
楽しき船路、 いざ友よ歌はん。

三 夕日あかく 波間に揺れて、
鷗飛びゆく 遠茜。
黄金の光 行く手を染めて、
楽しき船路、 いざ友よ歌はん。

f *mp*

一 ツキハナツミクア
二 イカイカアおハタ
三 テモラとクにクリ
四 キクウぞナラケヘ
五 カハマママシスミ
六 ツマノんモはラガ
七 ヌイクマクカヤヨ
八

f *mp*

p

一 ナヤヌばヌツンツ
二 カシキレエツケタ
三 フコユすハめシリ
四 モシギらリたロぞ
五 オカスのテさシこ
六 ヲハハらマゴゾヤ
七 へくるがシヤニジ
八

p

船 路

たのしく ♩ = 108

mf

mp

一 ミ サ キ マ ハ バ ウ ナ バ ラ
二 み ど フ リ シ ヤ マ は ナ ル カ ニ
三 ャ ッ フ ヒ ア カ ア カ ナ ミ マ

ハ テ フ ク ヨ セ シ ノ ミ ナ ミ カ
キ え て フ ク ヨ セ シ ノ ミ ナ ミ カ
ユ レ テ フ ク ヨ セ シ ノ ミ ナ ミ カ

mf

セ ヨ セ ク ル ナ ミ ハ
ほ き く ん の ひ び き
ネ コ ガ ネ ノ ヒ カ リ

ミ ヨ シ ニ ク ダ ケ タ ノ シ キ
あ こ が ね の せ て た の し き
ユ ク テ ラ ソ メ テ タ ノ シ キ

フ ナ ナ イ ザ ト モ ヨ ウ タ ハ シ
フ ナ ナ イ ザ ト モ ヨ ウ タ ハ シ

f *mf poco rit.*

神まうで

莊重に ♩ = 69

Piano accompaniment for the first system on page 82, featuring a grand staff with treble and bass clefs. The music is in 4/4 time and includes dynamic markings *p* and *mf*.

Vocal line and piano accompaniment for the second system on page 82. The vocal line is on a single staff with lyrics in Japanese. The piano accompaniment is on a grand staff. Dynamic markings include *mp*.

一 タ チ ナ ラ
二 そ の み ち
三 キ ザ ハ シ

Vocal line and piano accompaniment for the third system on page 82. The vocal line is on a single staff with lyrics in Japanese. The piano accompaniment is on a grand staff. Dynamic markings include *mf* and *mf*.

アの オ イ キ ノ ス ギ ノ シ
の み ち び く ま に ま し
の ノ ボ リ テ カ ナ タ ナ

Vocal line and piano accompaniment for the first system on page 83. The vocal line is on a single staff with lyrics in Japanese. The piano accompaniment is on a grand staff. Dynamic markings include *mf*, *mf*, *mf*, *f*, and *mf*.

タ カ ケ ニ ツ ツ ク ミ
ブ か な る あ ヨ み う
ニ ゴ ト ノ オ ハ シ マ

Vocal line and piano accompaniment for the second system on page 83. The vocal line is on a single staff with lyrics in Japanese. The piano accompaniment is on a grand staff. Dynamic markings include *mp*, *mp*, and *mf*.

チ ナ リ ア サ モ ヤ ラ ヌ
つ し て む し ら も ぎ も の こ
ス カ ハ シ ラ ネ ド モ カ

Vocal line and piano accompaniment for the third system on page 83. The vocal line is on a single staff with lyrics in Japanese. The piano accompaniment is on a grand staff. Dynamic markings include *mf*, *f*, and *mf*.

ヒ テ ホ ノ ボ ノ ミ ヤ シ ロ
こ ろ も き よ く き さ は し
タ ジ ケ ナ サ ニ ナ ミ タ ス

mp

ニ イ タ ル ミ チ ナ リ
を の ぼ る あ さ ナ リ
ル カ ミ ノ ニ ハ ナ リ

mp

三 きざはしをのぼりてかなた、
 なにごとのおはしますかは
 知らねども、かたじけなさに
 涙する神の場なり。

二 その道のみちびくまにま、
 静かなる歩み移して、
 むらぎもの心も清く、
 きざはしをのぼる朝なり。

一 立ちならぶ老木の杉の
 下かげにつゞく道なり。
 朝もやを縫ひてほのく
 御社に詣る道なり。

神まうで

子守歌

(シューベルト)

ゆるやかに ♩ = 52
mp

一 ネムレ ネムレ ハハノムー ネ ニ ネムレ
 ニねむれ ねむれ ははのむー ね に ねむれ

ネムレ ハハノテー ニ コ コ ロヨキ ウ タゴ
 ねむれ ははのてー に あ た たかき わ がそ

エ ニ ム ス ベ ヨ ヤ タ ノ シー ユー
 で に つ つ ま れ て ね む れ よー

メ
ヤ

mp

一 ねむれ、ねむれ、母の胸に。
 ねむれ、ねむれ、母の手に。
 快き歌ごゑに、
 結べよや、楽し夢。

二 ねむれ、ねむれ、母の胸に。
 ねむれ、ねむれ、母の手に。
 暖かきわが袖に、
 包まれて、ねむれよや。

子守歌 (シューベルト)

終止形和音合唱

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

歌唱基本練習

二拍子

1 母音練習と下行音階

音名又は階名にて

イ エ ア オ ウ 静かに
ウ オ ア エ イ いきをつぐ

2 (イ) 一拍一音符

(ロ) 一拍二音符

5

6 二度音程

7 三度音程

8 二拍子と四拍子間の強勢の相違

Musical score for exercise 8, consisting of four systems. Each system includes a vocal line (treble clef) and a piano accompaniment (grand staff). The first system is in 2/4 time, and the subsequent systems are in 4/4 time. The piano accompaniment features chords and a steady bass line. Vertical dashed lines indicate the alignment of notes between the vocal and piano parts.

Continuation of the musical score for exercise 8, showing the vocal and piano parts for the first system on page 91. The notation continues from the previous page, with the piano accompaniment providing harmonic support for the vocal line.

9 増四度音程(音域の都合により〔〕内は歌はなくてもよい。)

Musical score for exercise 9, consisting of two systems. Each system includes a vocal line (treble clef) and a piano accompaniment (grand staff). The first system is in 2/4 time, and the second system is in 4/4 time. The piano accompaniment features chords and a steady bass line. Vertical dashed lines indicate the alignment of notes between the vocal and piano parts. The exercise focuses on the tritone interval, with some notes in brackets in the vocal line.

10 結合線と附点音符

(1)

(2)

11

D.C.

12 切分音 >は切分音を示す。

(1)

(2)

13 三拍子

(1)

(2)

14 主題と變奏

主題

變奏1

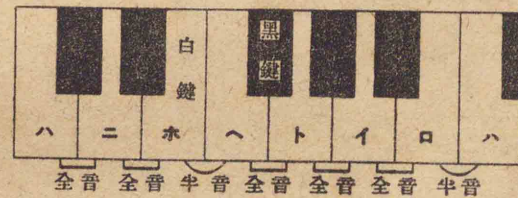
變奏2

變奏3

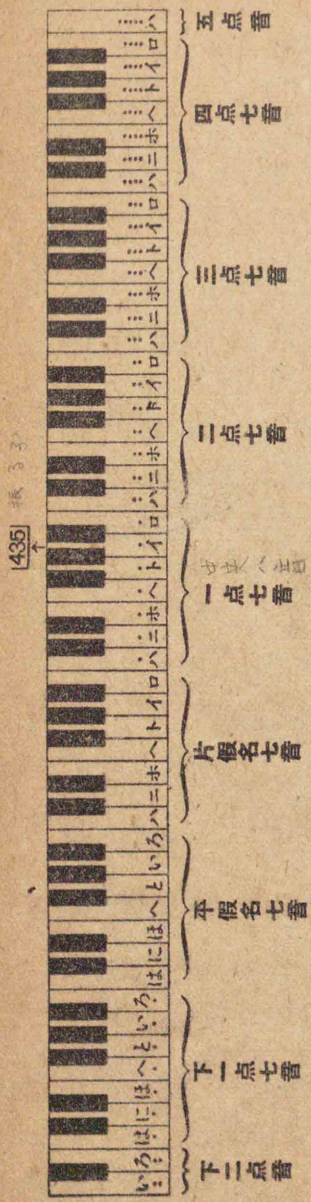
音 樂 理 論

音 名

音樂で用ひる音の名を音名といふ。基礎の音名はハ・ニ・ホ・ヘ・ト・イ・ロの七つ、これを幹音といひ、ピアノの白鍵の出す音である。



ピアノの白鍵は全部で五十、又は五十二。幹音名に一點・二點などの名をつけ、或は片假名平假名の區別をつけて、白鍵全部の音名をはつきりさせてある。一點イ音は基準音高（一秒に435振動）である。ホへとロハの高さの幅は半音といつて狭く、ハニ・ニホ・ヘト・トイ・イロは廣い。これを全音といふ。

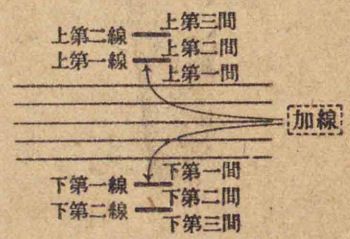


譜表

音楽の譜は五線に書く。五線の線と線間の名は圖のやうである。




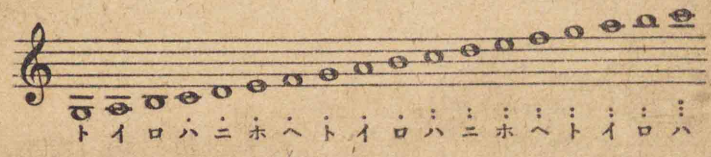
音部記號は音高を定めるためのもので、五線の左端に記す。高音部記號と低音部記號の二種を普通に用ひる。




第五線より高い音は上第一間・上第一線などに書き、第一線より低い

音は下第一間・下第一線などに書く。上(下)第一線などは必要な場合^かに書く短線(加線)である。

高音部記號(ト音記號)  は第二線を巻くやうに書く。第二線はトにきまる。この記號のある譜表(高音部譜表)では、次の諸音を書くことができる。



低音部記號(ヘ音記號)  は第四線から渦を書き始め、點を第四線の上下に打つ。第四線はへ(片假名へ)である。この記號のある譜表(低音部譜表)では、次の諸音を書くことができる。



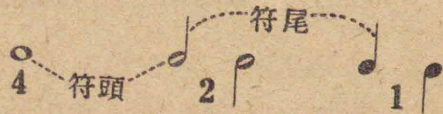
ピアノのやうな音域の廣い樂器の譜表には、高音部譜表と低音部譜表とを聯合した大譜表を用ひる。大譜表は次の圖のやうに左端を縦線じゆうせんと括弧くわつことでつなく。



音 符

音符おんぶは譜表に記して音高を表すが、又その形によつて音の長短を表す。主な音符の種類と形は次の通りである。

全音符 二分音符 四分音符

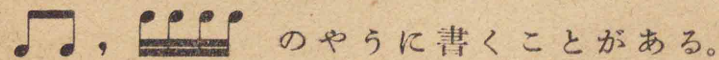


八分音符 十六分音符 三十二分音符



上圖のやうに、音符は符頭とう、符尾び及び鉤こうで作られる。符頭が第三線より上にある時は符尾を下方につけ、第三線より下にある時は符尾を上方につける。第三線に符頭がある時は、符尾は上下いづれへつけてもよい。八分音符以下は鉤の數を増して表す。音符圖の下の數字は、四分音符を1として、各音符の長さの比較をしたものである。

また鉤のある音符が續く時には、まとめて



これを連符れんかうといふ。唱歌の譜では、同じ語音を引く時に限つて、連符が用ひられる。

名稱	附點二分音符	附點四分音符	附點八分音符	附點十六分音符
形				
長さ	+	+	+	+

附點ふてん音符は、符頭の右に點を一つつけた音

符で、その點は $\frac{1}{2}$ の長さを増すことを表す。

名稱	複附點二分音符	複附點四分音符	複附點八分音符
形			
長さ			

複附點音符は、符頭の右に二點を横に並べてつけた音符で、第二の點は $\frac{1}{4}$ の長さを増す。

三連符は一音符を三等分することを表す記法である。



休符

休符は音のない箇所の長さを表す。休符には全休符・二分休符・四分休符・八分休符・十六分休符・三十二分休符などがある。



附點休符・複附點休符

附點二分休符 附點四分休符 附點八分休符 附點十六分休符 複附點二分休符 複附點四分休符 複附點八分休符



一小節の休みを表すのに全休符が用ひられることがある。

拍子

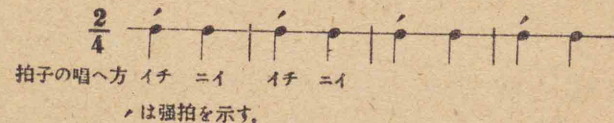
子供らは手拍子を打つて歌をうたふ。音樂に拍子はずきものである。拍子とは音の強弱の規則立つた繰返しをいふ。一打ちを拍といふ。拍には強拍と弱拍とがある。譜表では弱拍と強拍との間に縦線を引いて拍子を明らかにする。縦線に區切られた部分を小節といふ。



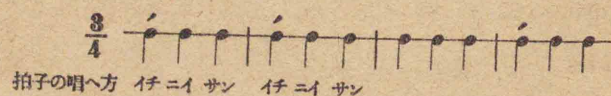
樂曲の終りには二本の縦線(後の方が太い) || (複縦線) を書き、同じ太さの複縦線 || は樂曲中の段落を表す。

拍子の種類

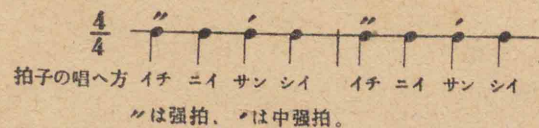
(一)二拍子(2) 強拍と弱拍とが交互に現れる拍子。拍の音符が四分音符の時は四分の二拍子($\frac{2}{4}$),二分音符の時は二分の二拍子($\frac{2}{2}$, C)である。



(二)三拍子(3) 強拍・弱拍・弱拍の三拍がくり返される拍子。拍が四分音符で表されると四分の三拍子($\frac{3}{4}$)である。



(三)四拍子(4) 強拍・弱拍・中強拍・弱拍の四拍がくり返される拍子。拍が四分音符の時は四分の四拍子($\frac{4}{4}$, C)。稀には $\frac{4}{8}$ や $\frac{4}{2}$ の種類もある。



(四)六拍子(6) 強拍・弱拍・弱拍・中強拍・弱拍・弱拍の六拍がくり返される拍子。八分音符が一拍の時は普通で、これを八分の六拍子($\frac{6}{8}$)といふ。速い六拍子は二拍に拍子をとる。



$\frac{2}{4}$, $\frac{4}{4}$, C, $\frac{6}{8}$ などを拍子記号といひ、楽曲の始め、音部記号、調號のつぎに書く。

八分音符六つの旋律(ふし)は($\frac{3}{4}$)の時と($\frac{6}{8}$)の時とでは、強拍の位置が違つてゐる。



弱拍で始る楽曲を弱起といひ、強拍で始る楽曲を強起といふ。(弱起の例「明治節」, 強起

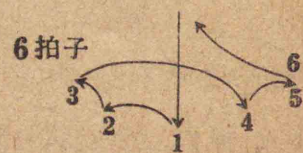
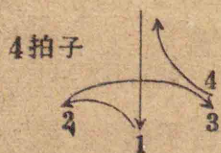
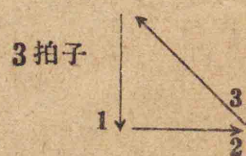
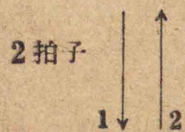
の例「紀元節」)。弱起の楽曲では、最終の小節に弱拍がない。

律動 りつどう 拍子の中の音符は、長短種々のもので作ることができる。休符が用ひられることもある。律動は音楽に生氣を與へる。



★印の所のやうに弱部と次の強部とが結合されると、後の強部のもつ強勢は前の弱部に移る。これを切分音せつぶんおんといふ。

指揮棒による拍子のとり方



派生音

幹音列の半音高い音列は嬰えいハ・嬰ニ・嬰ホ・嬰ヘ・嬰ト・嬰イ・嬰ロといひ、譜表では音符の前に# (嬰記號)をつけて表す。又、嬰音列の半音高い音列は重嬰ちゆうえいハ・重嬰ニ・重嬰ホ・重嬰ヘ・重嬰ト・重嬰イ・重嬰ロといひ、音符の前にx (重嬰記號)をつけて表す。嬰音・重嬰音は鍵盤上では次のやうな位置をとる。



幹音列の半音低い音列は變へんハ・變ニ・變ホ・變ヘ・變ト・變イ・變ロといひ、譜表では音符の前にb (變記號)をつけて表す。また變音列の半音低い音列は重變ちゆうへんハ・重變ニ・重變ホ・重變ヘ・重變

ト・重變イ・重變ロといひ、音符の前に bb (重變記號) をつけて表す。變音・重變音は鍵盤上では、次のやうな位置をとる。

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ

重變ハ 重變ニ 重變ホ 重變ヘ 重變ト 重變イ 重變ロ

變ハ 重變ニ 重變ホ 變ヘ 重變ト 重變イ 重變ロ

嬰音・重嬰音・變音・重變音を幹音に對しては派生音といふ。また鍵盤圖でわかるやうに、ハ・嬰ロ・重變ニのやうに音名の違ふ音も同一鍵で出すのである。これを異名同音といふ。三十五の幹音・派生音を、十二の鍵で出す調律法を平均律といふ。音樂理論上、合理的な調律法に純正律がある。田中正平博士の純正律オルガンは、純正律の調律法を有鍵樂器に應用した著名な試みである。

x b bb を變化記號といふ。# 又は b は音部記號の次に、一箇又は數箇を記して、

調號に用ひる。

ト長調 短調 ヘ長調 短調 ニ長調 短調 變ロ長調 短調

變化記號は樂曲の進行中、臨時に用ひられることがある(臨時記號)。臨時記號は縦線を越えると效力がなくなる。随つて、變化記號を取り消して幹音に復するためには、(本位記號) が用ひられる。

嬰へ

速度

樂曲の速さを表すことばを速度標語といふ。最も普通に用ひられる速度標語を次に挙げる。

非常にゆるやかな速度 レント グラーベ フルゴ Lento Grave Largo
 ゆるやかな速度 アダージョ ラルグット Adagio Larghetto
 普通 of 速度 アンダンテ モデラート Andante Moderato
 やゝ速い速度 アンダンティーノ アレグレット Andantino Allegretto

速い速度 ^{アレグロ} Allegro

非常に速い速度 ^{プレスト} Presto

速度の變り方を示す標語

rit. (リタルダンド だんだんおそく)

rall. (ラレンタンド だんだんおそく)

a tempo (アテンポ 元の速さで)

Tempo I (テンポ プリモ 樂曲本來の速さ
で)

速度は標語によらず、一分間に幾拍である
かを明示する速度記法も用ひられる。

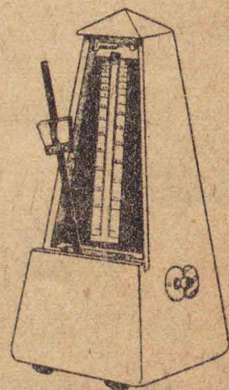
♩ = 96 は四分音符を一分間に96の割合で
演奏することを表す。♩ = 96 の時、一拍の長
さは0.6秒餘りである。

「君が代」の速度は

♩ = 69 である。

普通の行進曲は、一拍が
112 から 120 ぐらゐで
ある。

速度を測る器械を拍節
器(メトロノーム)といふ。



發想標語と各種記號

一 音の強弱

弱く *p* (ピヤノ)

強く *f* (フォルテ)


やゝ弱く *mp* (メゾピヤノ)

やゝ強く *mf* (メゾフォルテ)

最も弱く *pp* (ピヤニシモ)

最も強く *ff* (フォルティシモ)

だんだん強く  *cresc.* (クレシェンド)

だんだん弱く  *decresc.* (デクレシェンド)
dim. (ディミヌエンド)

音を強めて $\wedge >$ (アクセント)
sf (スフォルツァート)

二 曲想標語

かはいらしく美しく ^{ドルチェ} *dolce*

表情をいきいきと ^{エスプレッシーボ} *espressivo*

歌ふやうにきれいに ^{カンタービレ} *cantabile*

輕快に ^{レジエロ} *leggiero*

國語による曲想標語の例

元氣よく 活潑に 愉快に
 力強く 行進曲風に 楽しく
 朗かに やさしく 無邪氣に
 静かに 莊嚴に 壯大に
 敬虔に 悲しく

三 奏法に関する標語と記法

- (イ) 連結線(スラー) なめらかに奏する。
 (ロ) 結合線(タイ) 同じ高さの二音をつな
 いで、一音符のやうに奏する。



- (ハ) 断奏記號(スタッカート) 音符を短く分
 離して奏す。分離の程度によつて・(圓
 點) (垂點) 又は (半断奏) などの
 記號がある。



- (ニ) 保音記號 $\bar{\text{p}}$, ten 音符の長さ一ぱい
 に、終りまで力を抜かないで奏する。

- (ホ) 氣息記號 V 旋律の息つぎの箇所を
 示す。

- (ヘ) 延長記號 \frown 音符や休符を延す。
 \frown が複縦線の上につけられた時は樂曲
 の終りを表す。(Fine 終止記號)。

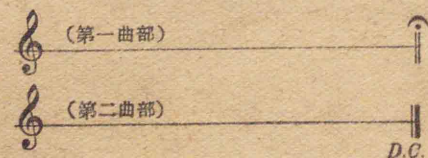
四 反復記號 繰返しのしるし。




- (イ) ||: はこの記號までの部分を初めか
 らくり返す。

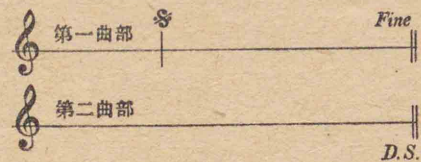
- (ロ) ||: ||: 二つの記號の間を二回く
 り返す。

- (ハ) $\overset{1.}{\text{||:}} \text{---} \overset{2.}{\text{||:}}$ 繰返しの終りの部
 分に變更がある時には角括弧をつけて、
 1(一回目)、2(二回目)を明らかにする。

- 五 反始記號 第二曲部の終りに D.C. ダカ
 ポ(Da Capo)の文字があると、第一曲部の
 初めからまた演奏する。大抵は第一曲
 部の終り Fine 又は ||: で演奏を終る。



六 ^{せつそく} 接續記號 第二曲部の終りに  又は *D. S.* (*ダ ル セーニョ Dal segno*) がある時は再び第一曲部の  の箇所から演奏し、*Fine* 又は  で終る。



七 ^{さうしよくおん} 裝飾音

(イ) 短前打音 (ロ) 複前打音



(ハ) 後打音



八 ^{びおん} 琵琶音



附 録
歌 曲 作 者 一 覧

霞む夕日	大和田建樹 作歌	奥 好義 作曲 井上 武士 編曲
太空の護り	土岐 善麿 作歌	名倉 晰 作曲
春の野	堀内 敬三 作歌	田村 虎藏 作曲 弘田龍太郎 編曲
強 歩	林 柳波 作歌	下總 皖一 作曲
桑 摘 み	武内 俊子 作歌	中山 晋平 作曲
櫻井の訣別	落合 直文 作歌	奥山 朝恭 作曲 井上 武士 編曲
夏は来ぬ	佐々木信綱 作歌	小山作之助 作曲 片山穎太郎 編曲
真 珠	武内 俊子 作歌	松島 彝子 作曲
椰子の木かげ	堀内 敬三 作歌	弘田龍太郎 作曲
水に鍛へる	藪田 義雄 作歌	澤崎 定之 作曲
港	旗野十一郎 作歌 林 柳波 作歌	吉田 信太 作曲 片山穎太郎 編曲
家	林 柳波 作歌	本居 長世 作曲
いざ征け	川路 柳虹 作歌	井上 武士 作曲
秋の山路	堀内 敬三 作歌	シムーマン 作曲 黒澤 隆朝 編曲
年も豊かに	林 柳波 作歌	弘田龍太郎 作曲
月下懐郷	土岐 善麿 作歌	ドイツ民謡曲
去年のこよひ	(中學唱歌)	草川 信 編曲
婦人従軍歌	加藤 義清 作歌	奥 好義 作曲 草川 信 編曲

麥踏み	藪田 義雄 作歌	井上 武士 作曲
狩 獵	林 柳波 作歌	ドイツ民謡曲
春の七草	林 柳波 作歌	大中 寅二 作曲
畝 傍 山	文部省「高等科國語一」	井上 武士 作曲
船 路	勝 承夫 作歌	信時 潔 作曲
神 ま う で	内藤 濯 作歌	下總 皖一 作曲
子 守 歌	内藤 濯 作歌	シューベルト作曲

音 樂

1

(中等學校女子用)

昭和19年1月21日印刷
昭和19年1月25日發行

定價 66 錢

著作權所有

著作兼
發行者

東京都神田區岩本町三番地
中等學校教科書株式會社
代表者 山本 慶治

印刷者

東京都芝區愛宕町二丁目十四番地
愛宕印刷株式會社
代表者 谷 本 正
(東東一二五)

配給元

東京都神田區淡路町二丁目九番地
日本出版配給株式會社

發行所

東京都神田區岩本町三番地
中等學校教科書株式會社
日本出版會會員番號117522

(略名) 中教音樂女 1



一年に組

(10)

尾茂田ヨリ子